

(仮称) 北九州市白島沖浮体式
洋上風力発電事業

環境影響評価方法書

令和 7 年 12 月

株式会社グローカル

目 次

第1章	事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地.....	1-1
第2章	事業の名称、目的及び内容.....	2-1
2.1	事業の名称.....	2-1
2.2	事業の目的.....	2-1
2.3	事業の内容.....	2-1
2.3.1	事業の種類.....	2-1
2.3.2	事業の規模.....	2-1
2.3.3	事業実施区域.....	2-1
2.3.4	事業の期間.....	2-3
2.3.5	維持管理方法.....	2-3
2.4	事業計画の概要.....	2-3
2.5	工事計画の概要.....	2-8
2.6	その他の事項.....	2-9
2.6.1	事業実施区域の設定の考え方.....	2-9
2.6.2	他事業の風力発電事業の状況.....	2-12
第3章	事業実施区域及びその周囲の概況.....	3-1
3.1	自然的状況.....	3-1
3.1.1	大気環境の状況.....	3-1
3.1.2	水環境の状況.....	3-14
3.1.3	土壌及び地盤の状況.....	3-27
3.1.4	地形・地質の状況.....	3-27
3.1.5	動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況.....	3-32
3.1.6	景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況.....	3-106
3.2	社会的状況.....	3-116
3.2.1	人口及び産業の状況.....	3-116
3.2.2	水域（土地）利用の状況.....	3-122
3.2.3	河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況.....	3-128
3.2.4	交通の状況.....	3-132
3.2.5	学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の 配置の状況及び住宅の配置の概況.....	3-132
3.2.6	下水道の整備状況.....	3-135
3.2.7	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象 及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全 に関する施策の内容.....	3-135
3.2.8	その他の事項.....	3-148
第4章	環境の保全の配慮に係る検討及びその内容.....	4-1
4.1	配慮書における検討の経緯及びその内容.....	4-1

4.1.1	計画段階配慮事項の選定	4-1
4.2	調査、予測及び評価の手法	4-6
4.3	計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の結果	4-7
4.3.1	陸生動物（鳥類）	4-7
4.4	海生動物（海棲哺乳類及び魚等の遊泳動物）	4-23
4.5	総合評価	4-35
第5章	方法書に至る検討の経緯及びその内容	5-1
5.1	今後の発電設備等の構造・配置、事業を実施する位置について	5-1
5.2	配慮事項への対応方針	5-1
5.3	現地調査について	5-4
5.3.1	前事業の水質、底質、底生生物、魚類及び水中音の調査	5-6
5.3.2	前事業の鳥類及び海棲哺乳類の調査	5-13
5.3.3	前事業の海生植物の調査	5-27
5.3.4	前事業の潮流及びコウモリ類の調査	5-32
5.4	他の風力発電事業との累積的な影響について	5-35
第6章	配慮書に対する意見の概要と意見についての事業者の見解	6-1
6.1	配慮書の公表	6-1
6.1.1	配慮書の公告及び縦覧	6-1
6.1.2	配慮書についての意見の把握	6-2
6.2	環境保全の見地から意見を有する者の意見の概要	6-3
6.3	配慮書に対する北九州市長の意見と事業者の見解	6-6
第7章	対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	7-1
7.1	環境影響評価の項目の選定及び理由	7-1
7.1.1	環境影響評価の項目の選定	7-1
7.1.2	主な事業特性	7-1
7.1.3	主な地域特性	7-3
7.1.4	選定又は不選定理由	7-7
7.2	調査、予測及び評価の手法	7-11
7.2.1	水環境（水質：水の濁り）	7-11
7.2.2	水環境（水底の底質：有害物質）	7-15
7.2.3	植物	7-18
7.2.4	動物	7-21
第8章	環境影響評価を委託した事業者の名称、代表者の氏名 及び主たる事業者の所在地	8-1
資料編		